

# 令和6年度経営計画

## 業務運営方針

兵庫県の景気は、新型コロナの5類移行後、人の流れが活発化したことから、足元の業況は緩やかに回復しつつあります。また、経済活動の正常化を受けたペントアップ需要等がけん引する形で、個人消費は回復傾向にあります。

しかしながら、物価高騰や慢性的な人手不足といった課題が残っていることに加え、不安定な国際情勢による下振れリスクも抱えていることから、予断を許さない状況にあります。

事業者を取り巻く環境は、「新型コロナウイルス感染症対応資金(ゼロゼロ融資)」の据置期間終了に伴って本格的な返済フェーズに突入する中、公租公課の猶予期間終了等の各種支援策が終了したこと等もあり、抑えられていた倒産件数は増加し、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。

また、コロナ禍を乗り越えた先についても、原材料やエネルギー価格の高騰等により利益の確保が厳しくなっており、収益力の改善が急務となっています。

当協会は、こうした業務環境を踏まえ、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念のもと、事業環境の複雑化により事業者が抱える様々な経営課題に対しては、金融機関や関係機関と緊密に連携し、金融と経営の一体支援を行うことで、課題解決を図ります。

また、経営者保証に依存しない保証等を活用し、創業や事業承継の後押しを図るとともに、引き続きSDGsへの取組を推進し、持続可能な地域社会の構築を目指します。

この方針を実践するため、各部門において以下を中心に業務を推進します。

### 1 保証部門

金融機関や関係機関との緊密な連携のもと、最適な保証の提供やモニタリング等を通し、事業者の収益力改善に向けた継続的な支援を実施します。また、経営者保証を不要とする保証を推進し、地域経済の持続的発展を後押しします。

### 2 期中管理・経営支援部門

多様化・高度化する事業者の経営課題に対して、効果的な経営支援を行うため、ターゲットを絞ったプッシュ型及びフォローアップ型経営支援を実施します。

### 3 回収部門

期中管理部署との早期連携や、サービスの更なる活用といった業務体制等の見直しを行い、より一層、効率的な回収活動を図ります。また、求償権関係人の事業再生や生活再建に積極的に取り組みます。

### 4 その他間接部門

引き続きコンプライアンスの徹底と経営基盤の強化に努めるほか、SDGsの推進をはじめ、業務のデジタル化による効率化や人材の育成といった、健全で持続可能な組織体制の整備に取り組みます。

## 業務計画

## 1. 保証承諾額等

項目	金額	対前年度実績比
年間保証承諾額	400,000百万円	88.9%
期末保証債務残高	1,633,000百万円	94.7%
代位弁済額	30,000百万円	130.4%
求償権実際回収額	5,600百万円	90.3%

## 2. 基本財産と支払準備資産

(1)基本財産	令和6年度末保有見込額	96,363百万円
(2)支払準備資産(借入金除く)	令和6年度末保有見込額	198,190百万円

## 収支計画

(単位：百万円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常支出		経常収入	
業務費	3,722	保証料	16,199
借入金利息	0	預け金利息	183
信用保険料	7,559	有価証券利息・配当金	1,357
責任共有負担金納付金	643	延滞保証料	0
雑支出	0	損害金	123
		事務補助費	49
		責任共有負担金	1,920
		雑収入	120
計	11,924	計	19,951
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	26,991	償却求償権回収金	809
有価証券償却	0	責任準備金戻入	11,681
雑勘定償却	66	求償権償却準備金戻入	1,223
退職金	5	求償権補填金戻入	23,040
責任準備金繰入	11,422	その他収入	0
求償権償却準備金繰入	1,682		
その他支出	0		
計	40,166	計	36,753
		収支差額変動準備金取崩額	0
収支差額	4,614		
合 計	56,704	合 計	56,704

※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。